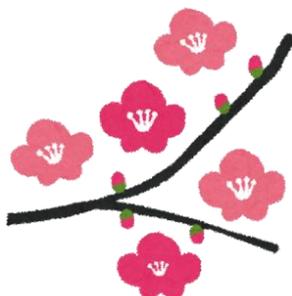


【お手本用】 ノートのマスのお手本をおいて、よく見ながら練習しよう。

「三字熟語（さんじじゅくご）」を書こう①



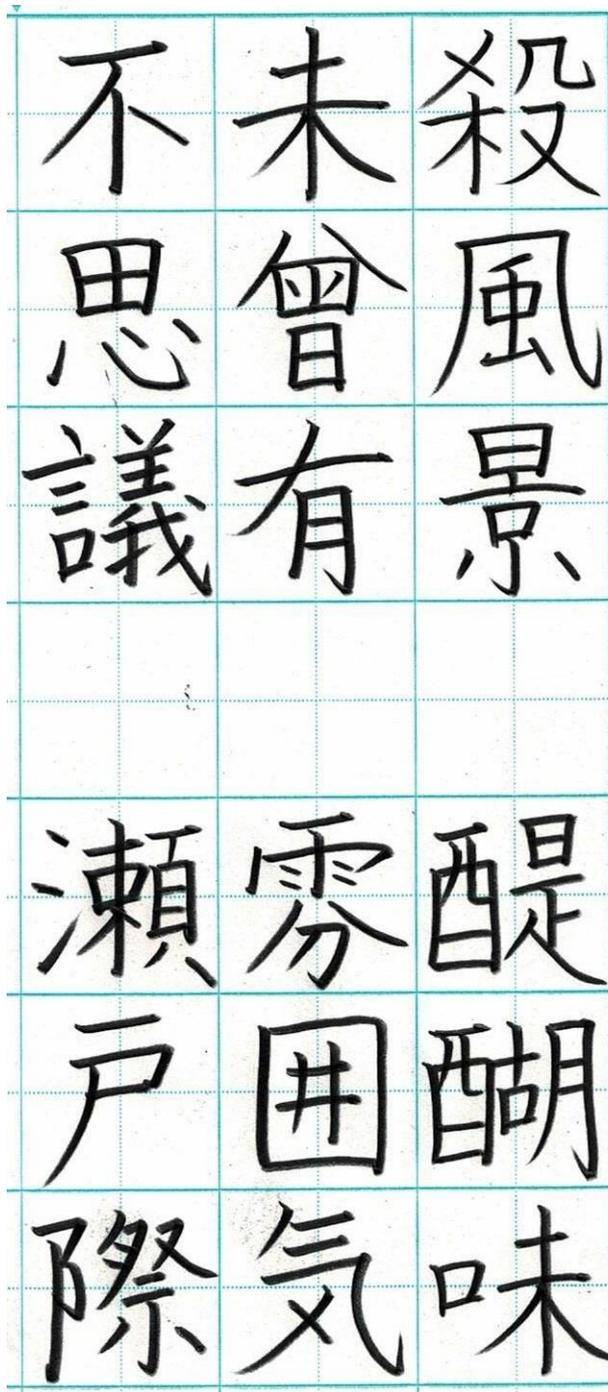
天	雪	松
地	月	竹
人	花	梅

熟語	よみ	意味
松竹梅	しょうちくばい	めでたいもの。また、ものを三つの階級（とうきゅう）にわけたもので、松（まつ）が1番（ばん）、竹（たけ）が2番、梅（うめ）が3番
衣食住	いしょくじゅう	食（た）べること、着（き）ること、住（す）むこと。人の生活（せいかつ）の基本（きほん）
雪月花	せつげっか	雪（ゆき）と月と花。自然（しぜん）の中の美（うつく）しいながめ
心技体	しんぎたい	心（こころ）と技（わざ）と体格（たいかく）。武道（ぶどう）などで重要（じゅうよう）なもの
天地人	てんちじん	天と地と人。世界（せかい）をつくっている三つのもの
朝昼晩	あさひるばん	朝（あさ）と昼（ひる）と夜（よる）。一日の時間帯（じかんたい）を三つにわけたもの

朝	心	衣
昼	技	食
晩	体	住

【お手本用】 ノートのマスの左にお手本をおいて、よく見ながら練習しよう。

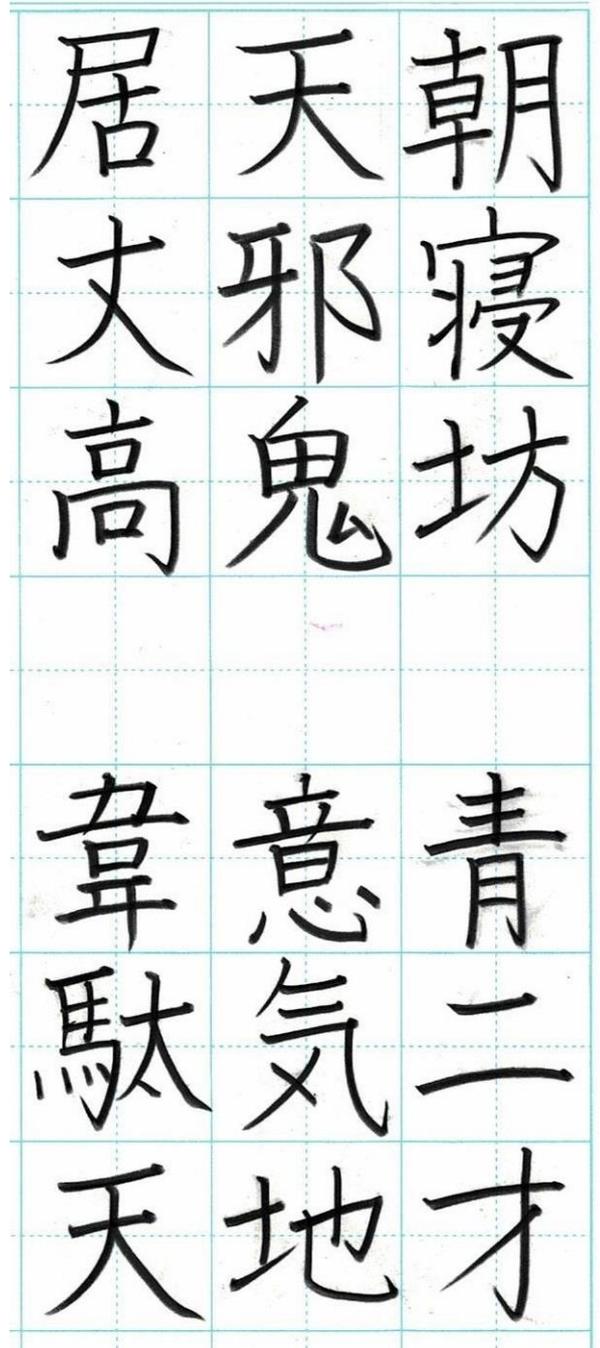
「三字熟語（さんじじゅくご）」を書こう②



熟語	よみ	意味
殺風景	さっふうけい	景色（けしき）などに目を楽（他の）しませるものがないこと
醍醐味	だいごみ	物事（ものごと）の本当（ほんとう）のおもしろさ。深（ふか）い味（あじ）わい
未曾有	みぞう	これまでに起（お）きたことがないようなめずらしいこと
霧気	ふんいき	その場（ば）やそこにいる人たちが自然（しぜん）につくり出している気分（きぶん）
不思議	ふしぎ	原因（げんいん）がよくわからず、なぜだろうと考（かんが）えさせられること
瀬戸際	せとぎわ	成功（せいこう）か失敗（しっぱい）か、勝（か）つか負（ま）けるか、などのわかれ目のこと

【お手本用】 ノートのマスのお手本をおいて、よく見ながら練習しよう。

「三字熟語（さんじじゅくご）」を書こう③



熟語	よみ	意味
朝寝坊	あさねぼう	朝（あさ）、起（お）きるのが遅（おそ）い人のこと
青二才	あおにさい	若（わか）くて未熟（みじゅく）な男（おとこ）を悪（わる）くいう言葉（ことば）
天邪鬼	あまのじゃく	わざと人にさからったりする、ひねくれた人
意气地	いくじ	人に負（ま）けまいとする気力、やり通（とお）そうという強（つよ）い気持（きも）ち
居丈高	いただけだか	人を威圧（いあつ）するような態度（たいど）をとるさま
韋駄天	いだてん	足の速（はや）い人のこと。もともとは仏教（ぶつぎょう）の神様（かみさま）の名前（なまえ）

【お手本用】 ノートのマスのお手本をおいて、よく見ながら練習しよう。

「三字熟語（さんじじゅくご）」を書こう④



熟語	よみ	意味
一枚岩	いちまいいわ	一枚（いちまい）の板（いた）のような岩（いわ）。グループがよくまとまっているさま
匙加減	さじかげん	なにかをするときのバランス、加減（かげん）のこと
青写真	あおじゃしん	将来（しょうらい）の計画（けいかく）、見取（みと）り図（ず）
一人前	いちにんまえ	大人（おとな）であること。また、大人（おとな）の能力（のうりょく）をもっていること
大団円	だいだんえん	物語（ものがたり）や劇（げき）がハッピーエンドになること
理不尽	りふじん	物事（ものごと）の筋（すじ）が通（とお）っていないこと